

農政局、県拠点、県、市が一緒に茶関係の事業について説明

有数の茶産地である掛川市において、関東農政局（茶振興担当、農地整備担当）、静岡県拠点、静岡県、掛川市がそれぞれ担当する補助事業について、生産者等に対する説明を行った。

○ 施策分類

地域作物

○ きっかけ・背景、課題の把握

JA掛川市から「茶関連の補助事業について、周知したところに申請の締め切りが来てしまう、ニーズの大きい事業の詳細が生産者に伝わっていない」との声があったことを踏まえ、関東農政局本局の協力を得て、12月6日にJA掛川市主催の説明会を開催した。

○ 取組の内容

茶に関連する事業は本局内でも複数の部局にまたがっていることから、本局から茶振興、農地整備それぞれの担当者が出席し、茶改植事業の詳細や農地耕作条件改善事業などについて説明し質疑応答を行った。また茶に関連する事業全般について、本局の協力のもとに部局横断的に分かりやすい資料を作成し、県拠点から説明した。

会議では静岡県、掛川市の茶担当者からも県、市単独事業についての説明を行うことで、生産者等に対して茶に関連する事業を網羅的に説明することができた。

○ 効果・成果、今後の方向性

主催者や出席者からは「まとまって補助事業の話聞く貴重な機会であり、ぜひ来年もやってほしい」との要望があった。

今後も地域の要望に応じた説明を行うとともに、茶関連事業の活用を推進していきたい。

需要の把握	産地の茶の試作品開発・試飲会等を通じた消費者ニーズ調査等 2次・3次産地との連携による調査や実需者評価会の開催等	P.2 P.3
生産基盤整備	まとまった面積を担い手に集積・集約化するための区画整理等 限られた面積の茶畑で乗用機械の導入等を可能にする条件整備	P.5 P.8
改植や栽培転換	シカによる新芽の被害等の防止対策 需要の見込まれる新品種への改植、有機栽培への転換等	P.9 P.10
スマート農業	スマート農業の導入	P.17
輸出への対応	輸出向け栽培体系への転換 輸出する茶の信頼を高める国際的認証の取得	P.19 P.20
施設等の整備	需要と産地の生産規模に対応した、てん茶加工施設等の整備 産地の収益力強化や農地利用の将来性の実現に資する機械等の導入	P.22 P.23
人材の確保	農業法人等における雇用就業の確保、自営就業等の促進 独立・自営就業を行う者の経営発展に向けた機械導入等	P.27 P.31

部局横断的に作成した茶関連事業の説明資料

体制図

JA掛川市・生産者等



茶関連事業を網羅的に説明

関東農政局
(本局各部が協力
して資料を作成)
静岡県拠点

静岡県

掛川市